

## 農産物の残留農薬検査結果(令和2年8月)

食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、厚生労働省は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物等に残留する農薬の検査を行っています。

今回は、令和2年8月に健康福祉局食品専門監視班が収去した農産物の検査結果を報告します。

### ◆ 市内産農産物

8月に収去された、日本なし及びぶどう(各5検体)の計10検体について検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。日本なし5検体及びぶどう5検体から延べ28項目の農薬が検出されましたが、残留農薬の規格基準値を超えるものはありませんでした。

検査項目及び検出限界については表2に示しました。

今回の検査で検出頻度が高かった農薬の概要については、6ページの【農薬解説】を参考にしてください。

表1 市内産農産物の残留農薬検査結果 (令和2年8月)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)	
日本なし	横浜市	5	5	クレソキシムメチル	0.04	5	
				*	クロルフェナピル	0.01	1
					フルバリネート	0.01	0.7
					クレソキシムメチル	0.03	5
				*	クロルフェナピル	0.03	1
					テブコナゾール	0.37	5
					フェンピロキシメート	0.06	0.5
					フェンプロパトリン	0.19	5
					フルバリネート	0.01	0.7
					クレソキシムメチル	0.02	5
				*	クロルフェナピル	0.01	1
					ブプロフェジン	0.03	6
					クロルフェナピル	0.01	1
				ぶどう	横浜市	5	5
*	ボスカリド	0.10	3				
	イミダクロプリド	0.02	3				
*	ファモキサドン	0.17	2				
	ペルメトリン	0.28	8				
	アセタミプリド	0.02	5				
*	クレソキシムメチル	0.02	15				
	ファモキサドン	0.01	2				
	メタラキシル及びメフェノキサム	0.02	1				
	アズキシストロビン	0.03	10				
*	イミダクロプリド	0.01	3				
	テブコナゾール	0.05	10				
	ファモキサドン	0.08	2				
	プロチオホス	0.01	2.0				
	ペルメトリン	0.07	8				

\* 中括弧 ( ) は同一検体からの検出

表 2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出限界 (ppm)	農薬名	検出限界 (ppm)	農薬名	検出限界 (ppm)
BHC ( $\alpha, \beta, \gamma$ 及び $\delta$ の和)	0.005	シペルメトリン	0.01	フェンプロパトリン	0.01
DDT (DDE,DDD,DDTの和)	0.005	ジメエート	0.01	フサライド	0.01
EPN	0.01	シラフルオフェン	0.01	ブタフェナシル	0.01
アクリナトリン	0.01	ダイアジノン	0.01	ブプロフェジン	0.01
アセタミプリド	0.01	ダイムロン	0.01	フルジオキシニル	0.01
アゾキシストロビン	0.01	チアクロプリド	0.01	フルシトリネート	0.01
アラクロール	0.01	チアメキサム	0.01	フルトラニル	0.01
アルドリン及びディルドリン	0.005	テトラコナゾール	0.01	フルバリネート	0.01
イソキサチオン	0.01	テブコナゾール	0.01	フルフェノクスロン	0.01
イミダクロプリド	0.01	テブフェノジド	0.01	フルリドン	0.01
インドキサカルブ	0.01	テブフェンピラド	0.01	プロシミドン	0.01
エトキサゾール	0.01	テフルトリン	0.01	プロチオホス	0.01
エトフェンプロックス	0.01	トリアゾホス	0.01	プロパホス	0.01
エポキシコナゾール	0.01	トリフルラリン	0.01	プロピコナゾール	0.01
エンドスルファン ( $\alpha$ 及び $\beta$ の和)	0.005	トリフロキシストロビン	0.01	プロピザミド	0.01
エンドリン	0.005	トルクロホスメチル	0.01	プロモプロピレート	0.01
オキサミル	0.01	ノバルロン	0.01	ヘキサコナゾール	0.01
カルバリル	0.01	パラチオン	0.01	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005
クミルロン	0.01	パラチオンメチル	0.01	ペルメトリン	0.01
クレソキシムメチル	0.01	ビフェントリン	0.01	ペンコナゾール	0.01
クロマフェノジド	0.01	ピリダベン	0.01	ペンシクロン	0.01
クロルピリホス	0.01	ピリプロキシフェン	0.01	ベンゾフェナップ	0.01
クロルピリホスメチル	0.01	ピリミカーブ	0.01	ベンダイオカルブ	0.01
クロルフェナピル	0.01	ピリミノバックメチル	0.01	ボスカリド	0.01
クロルプロファム	0.01	ピリミホスメチル	0.01	マラチオン	0.01
クロロクスロン	0.01	ファモキサドン	0.01	ミクロブタニル	0.01
シアノフェンホス	0.01	フィプロニル	0.002	メタラキシル及びメフェノキサム	0.01
シアノホス	0.01	フェナリモル	0.01	メチダチオン	0.01
ジエトフェンカルブ	0.01	フェニトロチオン	0.01	メキシフェノジド	0.01
ジコホール	0.01	フェノブカルブ	0.01	メトラクロール	0.01
シハロトリン	0.01	フェンクロルホス	0.01	リニューロン	0.01
ジフェノコナゾール	0.01	フェンスルホチオン	0.01	リンデン ( $\gamma$ -BHC)	0.005
シフルトリン	0.01	フェントエート	0.01	ルフェヌロン	0.01
シフルフェナミド	0.01	フェンバレレート	0.01	レナシル	0.01
シプロコナゾール	0.01	フェンピロキシメート	0.01		

DDTは $p,p'$ -DDE、 $p,p'$ -DDD、 $o,p'$ -DDT及び $p,p'$ -DDTの和

【農薬解説】

○クレソキシムメチル

『ストロビー』等の商品名で販売されている殺菌剤です。特にうどんこ病、黒星病、べと病などに対して効果があります。令和元年度及び平成30年度に検査を行った日本なしからも検出されています。

○クロルフェナピル

『コテツ』等の商品名で販売されている殺虫・殺ダニ剤です。野菜、茶、果樹等の主要害虫に対して殺虫効果があります。平成30年度に検査を行った日本なしからも検出されています。

○ファモキサドン

『ホライズン』等の商品名で販売されている殺菌剤です。令和元年度に検査を行ったぶどうからも検出されています。

※参考文献:一般社団法人日本植物防疫協会、農薬ハンドブック 2016 年版

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】